

科目名: 健康・医療心理学		科目コード	EB77	
科目主査: 小久保 正昭		担当講師: 小久保 正昭	単位	4
			配当年次	3・4
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	カメラ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> 不要	
<p>文明の高度化や人間関係の複雑化に対処できないで、適応障害や精神疾患で心を病む人が増えています。医療従事者や周囲の者が、そのような人たちの異変に気づき早期に対処することが大切です。健康な人であっても、いつ心を病むかわからないのです。本科目では、患者の心理や行動を理解し、効果的な医療を進めていくために必要な健康・医療心理学の基礎的な考え方を学びます。</p>				
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:		
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読していることを前提として授業を進めます。よく理解できていないところがあったらマーキングしておきましょう。			
テキスト	『健康・医療心理学』宮脇 稔 他, 医歯薬出版, 2018年			
この科目の到達目標	<p>①医療現場の心理と行動に関する基本的概念を理解し、その理論を用いて医療現場における問題を適切に説明することができる。</p> <p>②患者への対応に関する課題を、患者の心理と行動に関する枠組みで考察でき、解決の方向性を見出すことができる。</p>			
成績評価の方法	評価対象は課題と最終試験(100満点)です。なお、課題では正解がない問題を出題しますので、テキストの書き写しではなく自分の考えを述べてください。			
事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・興味を持った分野について文献を読んで、さらに理解を深めてください。 ・医療現場で体験した出来事が、どの概念や理論で説明できるかについて考察しましょう。 ・各自の興味や関心に応じて他の科目を履修し、発展的に学習してください。 			
事後学習の参考文献	<p>『医療・看護系のための心理学(改訂版)』森谷 寛之 他(編), 培風館, 2010年</p> <p>『こころを看取る 訪問看護師が出会った1000人の最後』押川 真喜子, 文藝春秋, 2012年</p> <p>『死ぬ瞬間 死とその過程について』E・キューブラー・ロス, 中公文庫, 2020年</p>			
スクーリング受講時に用意するもの	<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具			